新聞定価 月ぎめ 本体価格 2,864円(税込み 3,007円)、1部売り(税込み) 150円　第3種郵便物認可

和歌山 通行人らに署名を呼びかける＝ＪＲ和歌山駅前

福井 雨の中、仕事帰りの人たちに反対を訴える＝ＪＲ福井駅前

富山 法案反対を訴えながら練り歩く＝富山市

大阪 ビラ配りや署名活動が行われた＝大阪市都島区

黙ってられない

「主権奪われる」全国で抗議

「知る権利」を脅かす法律はいらない――。21日、少なくとも全国14カ所で同時多発的にあった特定秘密保護法案に反対する抗議行動。先月末の法案提出後では最大規模で、国民の理解を得ぬまま危うい法律を作ろうとする政権に「ノー」を突きつけている形だ。

▼1面参照

「情報が隠され、国民から主権が奪われてしまうかもしれない」。午後6時、広島市の原爆ドーム前でろうそくがともされる中、市民団体や弁護士らでつくる「STOP！国家秘密法広島ネットワーク」のメンバーら約320人が声を上げた。

その後、繁華街で約1時間にわたってデモ行進。1年前に東京から引っ越してきた主婦の今井安紀子さん(47)は「市民が自由に情報にアクセスできる環境を整えるべきなのに、法案は逆行しています」と話した。

富山市での集会。富山県の旧小杉町（現・射水市）の町長だった土井由三さんは「知りたい情報を集められなくなるこの法案は、子供の未来を閉ざす可能性があります」と批判した。福井市内では、雨が降る中で10人余りがデモ行進。法案の問題点を分かりやすく読み解く漫画入りのビラを配っていた。

名古屋市の久屋大通公園であった集会には、約2千人が集まった。フェイスブックで集会を知り、三重の津市から駆けつけた無職立川幸生さん(64)は「国民の大多数が反対しているのに、なぜ早急に決める必要があるのか」と疑問を投げかけた。

大阪市では大阪弁護士会館で集会が開かれ、定員約400人のホールは立ち見の人もいた。入りきれない約30人は映像が流れる別室で参加。同会の西浦克明副会長が「廃案に追い込んでいかねばならない」と訴えると、大きな拍手が起きた。兵庫県西宮市から参加した大学生の北場逸人さん(21)は「誰もがインターネットで発信する時代。言論統制につながる法律は恐ろしい」と話していた。

広島 デモの前の集会で特定秘密保護法案への反対を訴える＝広島市中区、いずれも21日

市民は法案をどう受け止めているのか。21日にあった集会やその周辺で聞いた。

岩田玄さん(22)　富山市　大学4年
何の容疑か知らされずに逮捕される可能性があると聞いた。自由な情報収集や意見交換もできなくなりそう。あまりに議論不足

藤井智子さん(32)　広島市　主婦
原爆投下直後、広島の実情は情報統制で国民に伝わらなかった。国民が正しく判断するには情報が不可欠。見て見ぬふりはできない

吉岡奈保子さん(53)　大阪市住吉区　書店経営
母が空襲に遭った戦時中を思い起こさせる法律。国民が何かを知ろうとした時、「法律に引っかかってしまう」と懸念することになる

中嶋多恵子さん(50代)　福井市　主婦
福井で原発事故が起きた時、放射能漏れも特定秘密にされてしまうのではないか。これまでの情報公開も不十分なのに

上田敏幸さん(63)　大阪府和泉市　団体職員
戦時中、父がフィリピンに出征した。特定秘密保護法で国民の目、耳、口がふさがれ、戦争に近づいていくような気がする

影千恵子さん(65)　大阪府枚方市　主婦
政府の都合の悪い情報がさらに隠されるのが心配。仮に第三者機関ができても、政府に近い人が選ばれて何の解決にもならない

林智志さん(66)　和歌山県有田市　元教師
キャスターやジャーナリストも立ち上がった。法案が通れば、日本は戦争に突き進むのではないか。子どもたちの未来を守りたい

世界からも反対声明

日本新聞労働組合連合（新聞労連）が加盟する国際ジャーナリスト連盟（IFJ）環太平洋アジア地連は21日、「国民の知る権利を損なう」として特定秘密保護法案に反対する声明を出した。新聞労連によると、IFJは世界131カ国のジャーナリストが参加する。

署名集め 声届け

法案反対の思いを形にして国会に届けよう――。街頭では、市民団体メンバーらが廃案要求に賛同する署名を市民に呼びかけた。

「福島の原発事故でも、後からボロボロと問題が明らかになった。ずっと隠されていたら、何が危険か分からなかった。そうなったら困る」。大阪市のJR京橋駅前で署名に応じた主婦の高徳理枝子さん(59)＝大阪府枚方市＝は力を込めた。

この署名活動は五つの市民団体などが実施。弁護士ら25人ほどが路上に立って「国民の知る権利を奪う法案に反対しよう」と訴えると、帰宅途中の会社員らが次々とペンをとった。

和歌山市中心部のJR和歌山駅前。高校3年生の太田達磨さん(18)＝和歌山県紀の川市＝はインターネットで署名活動のことを知って駆けつけた。自ら署名し、ビラ配りも手伝った。「法律が拡大解釈されると、誰でも逮捕される可能性があると聞きました。無関心はだめ。法案の怖さをみんなにもっと知ってほしい」

「権力集中の動き 反省してほしい」

西山さん、国会で批判

1972年の沖縄返還を巡る日米密約の取材に絡んで国家公務員法違反容疑で逮捕され、有罪が確定した元毎日新聞記者の西山太吉さん(82)が21日、参院国家安全保障特別委員会に参考人として招かれた。特定秘密保護法案について、秘密の範囲があいまいだとして「外交交渉の都合の悪い部分を隠し、都合のいい部分だけを出すことになりかねない」と批判した。

法案を出した安倍政権には「権力集中には必ず秘密保全が伴うが、戦後、こんなに一挙に権力集中の動きが出たことはなかった。反省してほしい」と述べた。（河村克宏）